

# 産科婦人科

## 診療実績・研究分野

### ① 診療実績

**生殖内分泌:** 原因不明の無月経に対し遺伝子検査の導入  
卵の質を向上させる目的でのメトニン投与  
不妊治療における体外受精-胚移植などの先端医療  
**婦人科腫瘍:** 進行癌に対する化学療法・放射線療法・手術療法を駆使した集学的治療  
**周産期(産科):** MFICU+NICUで24時間体制での搬送受け入れ  
(母体搬送が年間80件、夜間の時間外診療件数が毎月120件以上)  
胎児疾患は小児科新生児チームと協議して治療



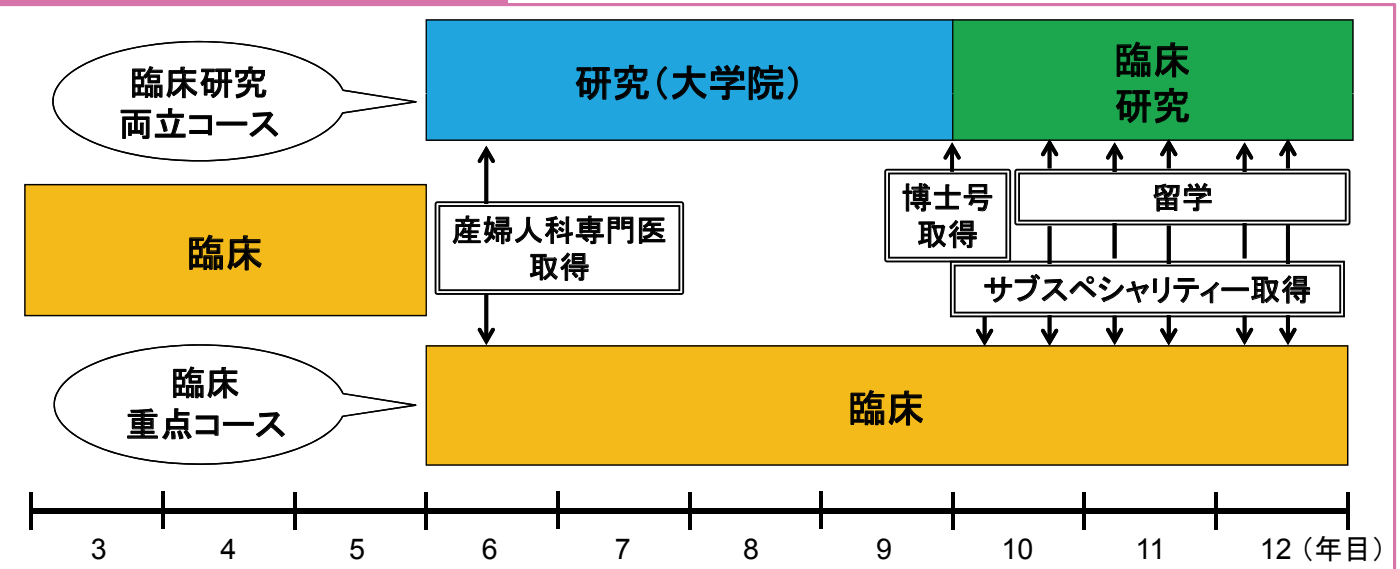
杉野法広 教授

### ② 研究分野

**生殖内分泌:** ☆ 卵巣機能の調節機構の解明、子宮内膜発育不全の病態解明  
それらに關与するエピジェネティクス調節機構の解明  
☆ 生殖におけるメトニンの役割 ☆ 子宮筋腫におけるDNAメチル化異常  
**婦人科腫瘍:** ☆ 子宮頸部扁平上皮癌の進展に關わる物質の究明と臨床応用  
☆ carbonyl reductaseの機能解析と分子標的治療への応用  
**周産期(産科):** ☆ 子宮内発育不全胎児の予後予測や娩出時期の臨床研究  
☆ 胎児先天異常の超音波学的ならびに遺伝子診断  
☆ 妊娠高血圧症候群のエピジェネティクス

※国際学会も積極的に参加し研究成果を発表。国内外の学会等で高く評価され、学会賞の授賞は多数。  
詳しくは次頁のホームページをご覧ください。

## 専門医コースのモデルプラン



## 主な関連病院

**県内:** 徳山中央病院 山口県立総合医療センター 済生会下関総合病院 山口労災病院  
山陽小野田市民病院 長門総合病院 周東総合病院 関門医療センター 下関市立豊浦病院  
小郡第一病院 宇部興産中央病院 光市立大和総合病院 済生会山口総合病院  
**県外:** 浜田医療センター(島根県) 愛媛労災病院(愛媛県)

## 留学・研修先(最近10年間)

Salk Institute for Biological Studies(USA), Albert Einstein College of Medicine(USA), GENETHON(France), University of Texas Health Science Center at San Antonio(USA), Baylor College of Medicine(USA), Backman Research Institute of the City of Hope(USA)  
がん研有明病院(東京)／健保連大阪中央病院(大阪)／東京大学大学院農学生命科学研究科(東京)

## 取得を目指す専門医資格一覧

◎日本産科婦人科学会 産婦人科専門医

○生殖医療専門医 婦人科腫瘍専門医 周産期専門医(母体、胎児) 女性ヘルスケア専門医

◇内分泌代謝科専門医 超音波専門医 臨床遺伝専門医

日本がん治療認定医機構認定医 婦人科内視鏡技術認定医

## 指導医・後期研修医からのコメント

### 指導医からのコメント:

臨床力を高めるためには、多くの症例を経験することが必要だと思います。特に大学病院では、回診やカンファレンスに備えたプレゼンテーションに時間をかけることによってその症例を深く確実に学ぶことができると考え、しっかりと指導するように心がけています。また、学会への参加や発表などにもできるように指導しています。大学での通常の臨床経験があれば産婦人科専門医の取得は容易で、さらに研修を重ねる上で、また大学院に進む際に、生殖・内分泌、腫瘍、周産期それぞれの専門分野に分かれ、それぞれの専門医資格を取得していくこととなります。大学病院は多くの専門医の研修指定病院となっているため、専門医取得を目指したい方にとって大学で研修することは有利だと思います。なお、女性医師については結婚、夫の転勤、出産、育児などに関連して、研修病院や内容、時期について、個別に相談し柔軟な対応を行っています。(浅田 裕美)

### 後期研修医からのコメント:

当初は大学病院はカンファレンスが多く、症例数が少ないイメージを持っていましたが、症例数も他の市中病院に負けないくらい経験できますし、手術や病棟や外来、外勤など今後どの病院に行っても一人前に仕事をこなせるように自分で考え、治療を計画したり実行したりできます。その上で、カンファレンスで多数の経験豊富な先輩方からアドバイスをいただきますので、自分の行っている治療に漏れがありませんし、自信がつかます。前置胎盤や胎児不整脈など重症の産科管理、CCRT(同時化学放射線療法)や広汎子宮全摘術などの婦人科腫瘍など高次病院ならではの診療はもちろんノースクの分娩や子宮筋腫の単純子宮全摘術まで1から10までの一通りの症例が経験できます。また、大学病院ですので研修医や学生がローテーションしておりますので、一緒になってわいわい勉強できるのも魅力だと考えています。もちろん勧誘などで親睦会もありますので、それも日々の多忙な診療の癒しとなっております。みんな先輩先生たちが優しいのはもちろんですし、看護師・助産師などスタッフとも仲のいい科なので、毎日楽しく仕事をさせてもらっています。ぜひみなさんも一緒に楽しく働きましょう。(中島 健吾)

## 問い合わせ先

担当者: 竹谷 俊明(医局長)

E-mail: [taketani@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:taketani@yamaguchi-u.ac.jp) TEL: 0836-22-2289(産科婦人科研究室)

産科婦人科HP: <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~obgyn/index.html>